

資料1 平成27年度末 環境指標（目標値）達成状況

環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課
1 農地や里山 を守ろう	農用地面積 (ha)	903	903	903	897	都市化の進行に伴い、農業振興地域内の農用地を除外及び転用して、開発事業（住宅や事業所等の建設）が行われたため、目標を達成できなかった。	→ 現状維持	農政課
	樹林地面積 (ha)	524	524	524	445	都市化の進行や管理の困難化に伴い、樹林地の伐採や跡地に開発事業が進んでいるため、目標を達成できなかった。	→ 現状維持	農政課
見直し後は、「農地を守ろう」を課題とし、新たに基幹的農業従事者数、基幹的農業従事者年齢層中央値、農業経営体の農産物販売規模の中央値を指標とします。また、「森林を守ろう」を課題とし、地域森林計画に基づく森林面積を指標とします。								
2 緑の環境を 守ろう	都市公園面積 (m <sup>2</sup> )	394,361	472,500	472,800	475,892		↑ 増加	都市計画課
	市域全体の緑被面積 (ha)	1,877	1,877	1,877	1,774	宅地開発事業等により、農地・山林ともに減少傾向であるため、目標を達成できなかった。	→ 現状維持	都市計画課
	緑被率 (%)	53	53	53	50	宅地開発事業等により、農地・山林ともに減少傾向であるため、目標を達成できなかった。	→ 現状維持	都市計画課
	公園数 (箇所)	68	71	74	87		↑ 増加	都市計画課
	緑地数 (箇所)	29	30	35	36		↑ 増加	都市計画課
	市民の森 (箇所)	3	3	3	3		→ 現状維持	都市計画課

環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課	
2	緑の環境を守ろう	緑地保全協定締結数 (件)	5	5	5	6	→ 現状維持	都市計画課	
見直し後は、「公園緑地を増やし守ろう」を課題とし、公園・緑地等の箇所数、市民1人当たりの都市公園面積、市民グループや自治会との共同による維持管理を行っている公園の数を指標とします。									
3	水辺の環境を守ろう	湧水保全箇所数 (箇所)	1	3	3	1	湧水の保全箇所については、協議・検討中のため。	↑ 増加	環境課 文化課
見直し後は、「水辺を生かそう」を課題とし、河川改修の進捗率を指標とします。									
4	生き物の環境を守ろう	樹林・樹木指定数 (本)	2	4	6	2	指定対象となるような樹木が確認できなかったため。	↑ 増加	環境課 文化課
		オオハクチョウの飛来数(羽)	21	21	21	31		→ 現状維持	環境課
		オオタカの営巣 (箇所)	3	3	3	不明	情報取得や目視確認には至らなかった。	→ 現状維持	環境課
見直し後は、「野生生物と共存・共生しよう」を課題とし、防除対象特定外来生物の発見種数、野生動物による生活被害の報告件数、野生動物による農業被害面積を指標とします。									
5	自然と触れ合おう	イベント開催数(回)	3	3	3	0	市講座の事業内容を充実したことにより未実施となった。	→ 現状維持	生涯学習課
		市民講座開催数(回)	5	7	10	10		↑ 増加	生涯学習課
		スポーツ・レクリエーション(回)	10	12	15	1	子ども会、青少年相談員等との連携により、自然の中で生きる力を育む房総アドベンチャーを行ったが、目標数には達しなかった。	↑ 増加	生涯学習課
見直し後は、「環境について学ぼう」を課題とし、市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加者数・受講者数を指標とします。									

環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課	
6	すがすがしい空気や静けさを守ろう	光化学オキシダントの基準超過日数(日)	76	57	38	97	猛暑の影響等により目標を達成できなかった。(前年度は89日)	↓ 削減	環境課
		市内の光化学スモッグ注意報発令件数(件)	4	1	1	5	猛暑の影響等により目標を達成できなかった。(前年度は4日)	↓ 削減	環境課
		北総線2駅(白井駅、西白井駅)の利用者人数(人/日)	11,534	12,000	15,000	11,134	少子高齢化の進展により通勤通学需要が減少していることなどにより、目標を達成できなかった。	↑ 増加	企画政策課
		市循環バス(人/年)	139,758	149,000	159,000	176,001		↑ 増加	企画政策課
		道路に関する苦情件数(件)	13	10	10	26	舗装の老朽化や人孔の段差による振動や騒音の苦情が多かったため、目標を達成できなかった。	↓ 削減	道路課
		公害苦情件数など(件/年)	123	115	100	114	(前年度は141件)	↓ 削減	環境課
見直し後は、「大気汚染を減らそう」を課題とし、光化学オキシダント濃度が環境基準を超えた日数、大気中二酸化炭素濃度、大気中浮遊粒子状部室濃度、光化学スモッグ注意報(警報)発令数を指標とします。									
7	河川や地下水などの水を改善しよう	河川の水質：神崎川 BOD (mg/l)	2.9	2.0	2.0	2.7	水質改善に取り組んできたものの目標は達成できなかった。	↓ 低減	環境課
		河川の水質：二重川 BOD (mg/l)	1.1	1.0	1.0	1.1	水質改善に取り組んできたものの目標は達成できなかった。	↓ 低減	環境課

環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課	
7	河川や地下水などの水を改善しよう	河川の水質：金山落 BOD (mg/l)	1.2	1.0	1.0	1.3	水質改善に取り組んできたものの目標は達成できなかった。	↓ 低減	環境課
		河川の水質：下手賀沼 COD (mg/l)	4.6	4.0	4.0	7.2	水質改善に取り組んできたものの目標は達成できなかった。	↓ 低減	環境課
		異常水質発生件数 (件)	6	1	1	1	船橋市北部清掃工場付近を発生源とする油流出事故があり、船橋市により調査が行われたが発生源は特定できなかった。	↓ 削減	環境課
		公共下水道処理人口 (人)	53,341	55,754	56,972	52,626	千葉ニュータウン区域人口が大幅に減少したため目標は達成できなかった。	↘ 増加	上下水道課
		公共下水道普及率 (%)	86.5	86.8	86.6	83.3	千葉ニュータウン区域人口が大幅に減少したため目標は達成できなかった。	→ 現状維持	上下水道課
		合併処理浄化槽処理人口 (人) ※下水道供用開始区域を除く	4,974	5,358	5,828	7,426		↑ 増加	上下水道課
		合併処理浄化槽普及率 (%) ※下水道供用開始区域を除く	8.1	8.4	8.9	11.7		↑ 増加	上下水道課
		地下水汚染浄化対策実施箇所数	1	1	1	0	浄化施設設置地点における浄化が完了した。これにより、H28年度以降は環境指標より削除した。	→ 現状維持	環境課

見直し後は、「水質を改善しよう」を課題とし、下手賀沼のCOD年平均値、神崎川及び金山落のBOD年平均値、公共下水道及び合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率を指標とします。

環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課
8 美しく安心して住める環境を守ろう	駐輪場利用台数 (台/日)	2,600	2,900	3,200	2,349	少子高齢化により、市内の生産年齢人口(15~64歳)が減少していることが影響していると思われる。	↑ 増加	市民安全課
	放置自転車撤去数 (台)	739	550	370	220		↓ 削減	市民安全課
	花いっぱい運動参加 団体数(団体)	52	60	65	54	新規加入の促進に取り組んだものの 目標の達成には至らなかった。	↑ 増加	環境課
	地区計画の策定数 (地区)	13	14	16	15		↑増加	都市計画課
	ごみの不法投棄回収 量(トン)	59	45	45	26		↓ 削減	環境課

見直し後は、「不法投棄や野焼きをなくそう」を課題とし、不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量、野焼きに関する苦情件数、果樹選定枝バイオマスガス化発電施設の処理量を指標とします。

9 郷土の歴史や文化を生かそう	史跡や名所、自然を 巡る散策コースの設 定数(コース)	20	21	22	22		↑ 増加	文化課
	文化財の保護・理解 に関する講座数(回)	18	23	23	27		↑ 増加	文化課
	指定文化財説明看 板・案内・誘導看板 の設置数(基)	19	21	22	26		↑増加	文化課

見直し後は、「景観や文化財を守ろう」を課題とし、地区計画の策定数、国・県・市指定文化財合計数を指標とします。

環境目標		環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課
10	ごみを削減しよう	生ごみ肥料化容器購入助成延べ件数 コンポスト（件）	1,758	1,860	1,960	1,843	累計目標であり、平成28年度も普及啓発に努める。	↑ 増加	環境課
		生ごみ肥料化容器購入助成延べ件数 機械式（件）	475	570	670	547	累計目標であり、平成28年度も普及啓発に努める。	—	環境課
		ごみの排出量 (g/人・日)	499	470	460	497	排出量削減の普及啓発に努めたが取り組みが進まなかった。	↓ 削減	環境課
		家庭ごみ再資源化率 (%)	25.3	28.0	31.0	22.6	分別排出の普及啓発に努めたが取り組みが進まなかった。	↑ 増加	環境課
		ごみ減量化・リサイクルなどに関する市民講座開催数（回）	3	3	3	7		→ 現状維持	環境課
見直し後も、「ごみを削減しよう」を課題とし、家庭系一般廃棄物排出原単位、一般廃棄物の資源化率、資源回収運動団体の数を指標とします。									
11	水循環を確保しよう	家庭や事業所における上水使用量 (m <sup>3</sup> /人)	92	89	86	80		↓ 削減	上下水道課
		公共施設雨水利用施設数（施設数）	1	2	2	2	保健福祉センター（トイレ）、白井コミュニティセンター（外部散水栓用）	↑ 増加	管財契約課
見直しにより、「限られた資源・エネルギーを大切にすまち」を望ましい環境像とし、課題を「エネルギーを有効に使う」に統一しました。									
12	エネルギーを有効に利用しよう	市有施設電力使用量 (kwh)	5,598,932	5,267,128	5,267,128	5,324,010	6月が記録的な高温となったこと等により電力需要（購入電力量）が増加したことが原因と思われる。なお、再生可能エネルギーによる売電量が9,600kwhとなっている。	↓ 削減	管財契約課 環境課

環境目標		環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課
12	エネルギーを有効に利用しよう	家庭用・事業用都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> /件)	874	830	786	849	家庭用を中心に、供給戸数が増したが使用量は減少した。特に家庭では2.5から3%減少している。これは省エネルギー推進の成果と思われるが、減少率は目標を達成できなかった。	↓ 削減	環境課
		クリーンエネルギー利用施設数 (施設数)	3	5	9	5	太陽光発電5施設(保健福祉センター、白井第二小学校、白井中学校、西白井複合センター、福祉センター)	↑ 増加	管財契約課
見直し後は、「エネルギーを有効に使おう」を課題とし、市有施設の電力使用量、供給先1件当たり都市ガス使用量、再生可能エネルギー設備導入量を指標とします。									
13	環境を知り、学び、行動しよう	小・中学校の環境学習教材作成配布数 (種)	1	2	2	2	「エコノート」(小5対象)、「わたしたちの白井市」(小3対象)ただし、エコノートは28年度からは、希望によりデータを配布する方法に変更	↑ 増加	環境課 教育 センター室
		小・中学校の環境学習教材作成配布数 (配布数)	653	1,300	1,300	1,346		↑ 増加	環境課
		環境に関する市民講座 (回)	1	3	3	2	緑のカーテン講座2回、エコクッキング講座中止(講師の都合がつかず中止となったため)	↑ 増加	環境課
		イベントの実施数 (回)	2	4	4	3	夏休み子ども環境学習、金山落生き物観察会及び手賀沼統一クリーンデイを開催したが目標には達しなかった。	↑ 増加	環境課
		こどもエコクラブ登録数 (件)	2	3	4	2	既存団体に対しては環境関係イベントへの積極的な参加を促す等活動の	↑ 増加	環境課

							活性化を図ったが、新たな登録団体育成には至らず目標を達成できなかった。		
見直し後は、「環境について学ぼう」を課題とし、市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加者数・受講者数を指標とします。									
環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課	
14	環境に配慮したライフスタイルを実践しよう	環境白書の発刊数 (冊)	150	100	100	0	平成26年度から市ホームページでの公開のみとなったため。	↓ 削減	環境課
		環境フォーラム開催回数(回)	1	1	1	1		→ 現状維持	環境課
		環境保全関係活動団体数(団体)	11	13	15	11	環境保全活動団体との連携が不活発であったことなどにより、新たな団体育成に至らず目標を達成できなかった。	↑ 増加	環境課
		グランドワーク事業実施数(回)	1	2	2	1	新たなグランドワーク事業(市民・市民団体及び市による環境保全活動)を企画できず目標を達成できなかった。	↑ 増加	環境課
見直し後は、「環境保全活動に参加しよう」を課題とし、市内の環境関係活動団体数、ごみゼロ運動の1回あたりの参加者数を指標とします。									
15	地球規模で環境を考えよう	市の事務事業による温室効果ガス排出量(kg)	4,379,085	4,095,061	4,095,061	4,082,288		↓ 削減	環境課
		環境分野における国際交流事業数(事業数)	1	1	1	1		→ 現状維持	環境課



環境目標	環境指標	現 状 (H22)	中間目標 (H27)	最終目標 (H32)	実 績 (H27 末)	中間目標未達成の理由・要因等	目標の 視 点	主管課	
15	地球規模 で環境を 考えよう	市内事業者の国際規格など認証取得数 (事業者数)	13	18	23	14	平成27年度はホームページや広報で制度の周知をしたが新規に取得した事業者はなかった。日本全体での認証取得が右肩下がりで減少しており、認証取得だけで差別化を図れて営業に役立った時代が過ぎ、コストを上回るメリットを企業が感じなくなりつつあることが要因と考えられる。	↑ 増加	環境課 商工振興課

見直し後も、「地球規模で環境を考えよう」を課題とし、市の事務事業による温室効果ガス排出量、降水中の水素イオン指数を指標とします。

#### 見直しにより追加された課題とその指標

環境目標	環境指標
騒音・振動・悪臭を減らそう	騒音振動に関する苦情件数 悪臭に関する苦情件数
有害化学物質による被害を防ごう	大気中のダイオキシン濃度
公害対策に市民の声を生かそう	市に寄せられた公害苦情件数 大気に関する苦情件数 騒音・振動に関する苦情件数（再掲） 悪臭に関する苦情件数【環境課】（再掲） 水質汚濁に関する苦情件数 その他の苦情件数
放射線を正しく知ろう	除染が必要となった場所の数